

夜間中学シンポジウム

# 「私の物語」をつむぐ

～ 星友館中学校の教育 ～

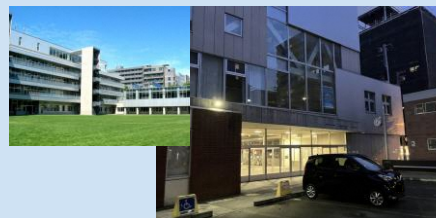


令和8年(2026年)3月28日(土)

1

## 札幌市立星友館中学校 (さっぽろしりつ せいゆうかん ちゅうがっこう)

- ・札幌市中央区：地下鉄すすきの駅から徒歩5分ほど
- ・同じ建物の中に、本校のほか小学校や保育園、ミニ児童会館が入っています。



2

### 【 星友館中学校（公立夜間中学）について 】

○義務教育の年齢（15歳）を超えている方で、国籍にかかわらず、

- ▶ 様々な理由により中学校を卒業できなかった方
- ▶ 本国で中学校を卒業していない外国籍の方
- ▶ 不登校などのために中学校に通えなかった方

などが、中学校の学習内容を学ぶために、  
道内で初めて設置された札幌市の公立夜間中学です。

○義務教育を受ける機会を実質的に保障するための  
様々な役割が期待されています。

3

### 【 開校までの流れ 】

○教育機会確保法が成立（H28. 12月）



○札幌市公立夜間中学に関するアンケートを実施（R2. 2月）

目的：公立夜間中学に入学する可能性がある方の人数や  
期待する内容の把握

アンケートA：入学する可能性が比較的高い方を対象

アンケートB：札幌市の外国籍市民のうち3000人を対象  
どちらも、4割弱の方が「入学を検討したい」と回答

4

## 【開校までの流れ】

○「札幌市公立夜間中学設置基本計画」を策定（R3.3月）

▶札幌市が設置する公立夜間中学の目指す姿  
**生徒の誰もが安心して、  
 学びの主役となれる多様性を尊重する学校**

○専任の校長がいる  
 単独の中学校として、  
**札幌市立星友館中学校が  
 令和4年（2022年）4月に開校。**



5

## 【学校運営方針】

学校教育目標

**「学ぶ<sup>は</sup> = 生きる」**  
 ～より自分らしくあるために～



- ▶学びを通して自分の人生を、自分らしく生きるための学校
- ▶生徒も教師も共に学び合い、よさを活かしながら成長できる場
- ▶目指す生徒の姿
  - ・自分らしい生き方の実現を目指し、学び続ける生徒
  - ・自分を活かし表現することに挑戦し、共に学び合う生徒
  - ・違いを認め合い、大切にし合える生徒

6

## 【校名・校歌・校章】

○校名：星～大きさも生い立ちも異なるが、それぞれの輝きを放って夜空を彩る。  
 友～互いを尊重し、支え合いながら学ぶ仲間。  
 新渡戸博士の「札幌遠友夜学校」の理念にも通じる。  
 館～札幌市立学校の起源である「資生館」から。



○校歌：札幌出身のシンガーソングライターで、さっぽろ応援大使の半崎 美子（はんざき よしこ）氏に作詞作曲を依頼。  
 校歌のタイトルは「私の物語」

○校章：校章デザイン案を中学生から募集。「星型と麻の葉」「紺色と夜」「月や翌朝の光」などのイメージ

7

## 【在籍の状況（R7.10月現在）】

○定員：120名程度

○令和7年度の状況

4月94名 ⇒ 10月99名（5・7・9・10月に随時入学）

- ▶9月まで入学を受付（10/1に後期入学式）
- ▶2・3年生からの入学も可能

○学年別：1年7名、2年16名、3年76名  
 \*特別支援学級を含む。3年はA組とB組に分かれ、全4学級。

○年代別：

10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳～
22名	21名	14名	12名	10名	6名	9名	5名

○外国籍の方や外国にルーツをもつ方：1割程度在籍

8

## 【 在籍の状況 (R7.10月現在) 】

○居住地：札幌市内91名  
市外8名（小樽市2, 恵庭市2, 北広島市3, 苫小牧市1）

他  
市  
町  
村  
の  
受  
け  
入  
れ

- ・「さっぽろ連携中枢都市圏」の11市町村（小樽市、岩見沢市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村、南幌町、長沼町）及び苫小牧市と覚書を交わし、受け入れを連携。
- ・入学者がいる場合は、当該市町村が学校運営費と就学支援制度に係る費用を負担。 ※

※就学支援制度～小中学校における就学援助制度の類似制度として、夜間中学での学びに必要な費用の一部を援助する制度。

- ▶対象：条件にあてはまる、経済的に困りの方
- ▶学用品費、給食費、通学費などが支給

9

## 【 修業年限・学習時間 】

○修業年限：昼間の中学校と同じく3年間が基本  
原級留置により、原則最長6年までの在籍が可能  
卒業すると、中学校の卒業資格が得られます。

○授業日と学習時間

平日（月～金）17：30～21：00

- ▶一つの授業は40分、一日4時間授業
- ▶年間授業日数 およそ200日
- ▶夏休み、冬休みの期間は、昼間の中学校と同じ



10

## 【 日課等 】

登校～17:30

- ・この1回のみチャイムが鳴る
- ♪ さぁ鳴らそうはじまりの鐘を

1時間目	17:30 ~ 18:10
給食・休憩	18:10 ~ 18:40
2時間目	18:40 ~ 19:20
学級の時間	19:20 ~ 19:30
3時間目	19:35 ~ 20:15
4時間目	20:20 ~ 21:00

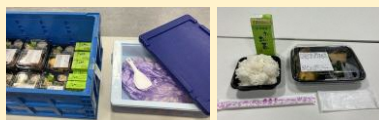
○時間目（16:30～17:10）

- ・前日までに予約し、教科担任のサポートのもと、自主学習を行う。
- ・体育館等の利用も可。



給食：仕出し弁当の方式  
自己負担+公費負担

- ・食べない選択も可（個別に相談）



11

## 【 教科指導 】

- ▶国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、外国語（英語）、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動
- ▶理解度や習熟度に合わせて、コース別に学習します。



- ①日本語コース（1名）
- ②スタートコース（6名）
- ③ベーシックコース（12名）
- ④スタンダードコース（19名）
- ⑤チャレンジ1コース（37名）
- ⑥チャレンジ2コース（19名）

▶学年に関係なく、学習状況や目標などに合わせて選べます。  
（コース体験を通して確認することも可）

計94名（R7.4月時点）

12

## 【 学習コース 】

### ① 日本語コース

- ▶ 学習に必要な日本語を身に付けることを中心に学ぶ。  
(日本語だけを学ぶことはできません)

### ② スタートコース

- ▶ 国語・数学を中心に、文字の書き方、足し算や引き算などの初歩的な内容をじっくりと学習する。

### ③ ベーシックコース

- ▶ 小学4～6年の基礎的な内容を中心に学習する。
- ▶ 数学に時間をかけ、週に5時間の授業を行う。

13

## 【 学習コース 】

### ④ スタンダードコース

- ▶ 小学6～中学1年くらいの内容を中心に学習する。

### ⑤ チャレンジ1コース (R7はA・Bの2教室)

- ▶ 中学校の内容から始める。一部小学校の内容も行う。

### ⑥ チャレンジ2コース

- ▶ 中学校の内容を深める。進学試験などにも対応。

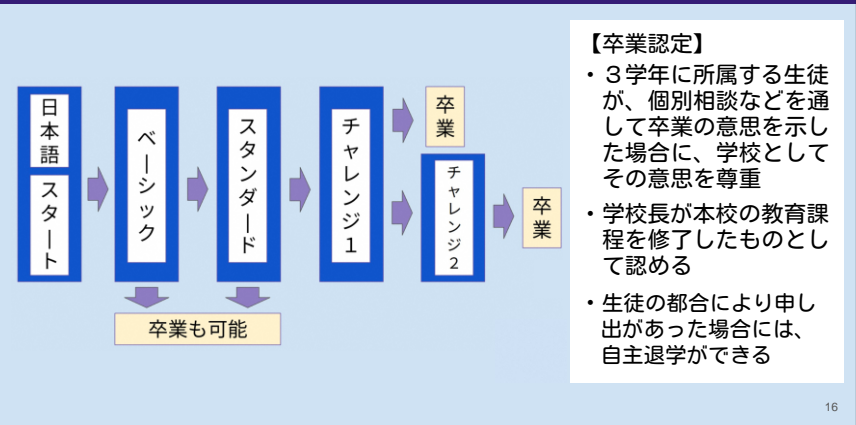
※チャレンジ1・2では、国語、数学、英語について  
難度別にグループを編成 (E: やさしい H: 難しい)

14

## 【 学びの形態 】



## 【 卒業認定 】



16

## 【1年間の主な行事等】



### 1学期 (4月～7月)

入学式・始業式  
入学を祝う会  
健康診断  
スポーツ交流会  
**校外学習 (夜間)**  
個別相談  
終業式

### 2学期 (8月～12月)

始業式  
**文化学習発表会**  
後期入学式  
**校外学習 (昼間)**  
バレエ鑑賞会 (2年)  
個別相談  
終業式

### 3学期 (1月～3月)

始業式  
書き初め大会  
**文集づくり**  
スポーツ交流会  
個別相談  
卒業を祝う会  
卒業式・修了式



避難訓練 **夏期・冬期講習会** 学校説明会 大通高校インターンシップ受入 など

17

## 【ニーズに応じた取組】

**パソコン講座 (全5回)**  
～基礎的な操作方法講座

**イドバタタイム (スクールカウンセラー)**  
～おしゃべりを通じた交流の場

**ゲームするかい (Youth+)**  
～ゲーム活動を通じた交流の場

**学校運営協議会 (コミュニティ・スクール)**  
～「生徒幹事」が声を届ける

**コース別情報交流会**  
～教職員間での情報交換

### 生涯学習カフェテリア (年3回)

\* ニーズに応じた複数の講座を設定

#### 【講座の例】

薬の正しい使い方、デートDV、心地よい人間関係、姿勢と健康

犯罪被害予防、冬の交通安全、問題商法、香りづくり、太極拳、大通高校の様子

健康エクササイズ、大人のマナー、歴史&戦国武将好き テクスチャーアート 中国語講座



18

## 【支援体制】

▶ 職員：校長1、教頭1、教諭12、養護教諭1、学校事務職員  
時間講師 (市費6、道費3)、外国語指導助手1  
**勤務時間** 13:00～21:30  
スクールカウンセラー1、校務助手1、福祉補助員1

▶ 必要に応じて、学習サポーターが個別に支援 (R7は29名が登録。1日あたり7～8名)

▶ 進級やコース選びは、定期的な個別相談を通じて決定

▶ 生徒の自主的な活動も一部実施。部活動やPTAはありません。



～生徒さんが安心を感じながら、少しでも「分かった」と思っただけの授業づくりを大切にしています～

19

## 【関係機関との連携】

学校運営協議会を構成する委員として委嘱

▶ **札幌遠友塾 自主夜間中学**

～毎週水曜日の授業。生徒、スタッフさん含めて様々な連携

▶ **札幌市若者支援総合センター (Youth+)**

～入学希望者への情報提供や卒業後の支援などで連携 「ゲームするかい」の運営、職員研修への協力

▶ **公益財団法人 札幌国際プラザ**

～外国籍の方への支援の在り方や、夜間中学についての情報提供、通訳・翻訳支援などで連携

▶ **市立札幌大通高等学校**

～インターンシップ受け入れなどで連携



20

## 【 広報の取組 】

- 本校ホームページや札幌市ホームページ
- 広報さっぽろ：10月号
- 交通局（地下鉄駅）のポスター：11月
- 札幌市デジタルサイネージ
- HBCラジオ「ハンザキラジオ」  
11/16 → 学校紹介、生徒の作文を朗読
- STVラジオ「工藤じゅんきの十人十色」  
12/10 → 学校紹介、入学生・サポーターの募集
- 市内中学校等への案内送付  
→ R7年9月～市内中学校に出向く広報活動



## 【 入学手続き 】 \* 9月受付（10月入学）までは年度内の入学

### ～ 入学までの流れ ～

- (1) 学校に入学願書を出す  
(郵送、持参、FAX、メール)
- (2) 学校と相談する  
(入学資格を確認)
- (3) 必要な書類を学校に出す
- (4) 入学が決まる

\* 試験や書類の審査などはありません

札幌市立星友館中学校 入学願書

提出日： 年 月 日

札幌市立星友館中学校 様  
私は、札幌市立星友館中学校に入学することを希望します。

入学希望者 の氏名	氏名	
	住所	
入学希望者の 場合	電話番号	
	署名	
入学希望者の 場合	保護者氏名	
	電話番号	
個別相談で お話しして ほしいこと		

※お返しの予定が早い方は、お電話か、メールでお返しいただきたいです。  
※届きや遅い場合がございます。届かない場合は、お電話かメールでお知らせください。  
※お返しの期日はお返します。

22

～ 以上で説明はおわりです  
ご清聴ありがとうございました ～



札幌市立星友館中学校  
校長 山田 哲也

23